

第10回「サービス・ラーニング全国フォーラム」のご案内

テーマ：日本における“クリティカル・サービス・ラーニング”の可能性
— 社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共に—

世界的な民主主義の危機や深まる分断、不可視化される格差、気候変動や人口減少、共生の課題が山積する一方で、AIによる効率化と生産性の追求が加速しています。2026年、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎え、複雑な課題に直面しています。こうした時代において、大学や学校が地域と連携して学ぶ「サービス・ラーニング (Service-Learning, SL)」の役割は、より重要性を増していると考えられます。

第10回目を迎える今回の全国フォーラムでは、これまで積み重ねられてきたSL実践や地域との連携活動を大切に受け止めながら、その一歩先にある「問い」を参加者の皆さんと共に深めていきたいと考えています。

たとえば、私たちの関わる活動は、表面的な「支援」や「体験」に留まってははいないでしょうか。少し立ち止まって、これまでの取り組みをじっくり捉え直してみませんか。

■ 「社会の仕組み」を問う：

目の前の困りごとは、なぜ起きているのか。その背景にある社会の構造や制度を、教室と現場を行き来しながらいかに探究できるか。

■ 「共につくる、連携のあり方」を問う：

「助ける側・助けられる側」という固定的な関係を超え、地域の方々と対等なパートナーとして、共に社会を形作るための権限や役割をいかに分かち合えるか。

■ 「本物の関係性」を問う：

形式的な交流に留まらず、時には意見の食い違いや「特権」による難しさを認め合いながらも、本音で響き合える関係性をいかに築けるか。

こうした「クリティカルな視点」を持つことは、これまでの実践の価値や課題を捉え直し、学びをより豊かで本質的なものへと深化させるための「レンズ」を手に入れることにつながるでしょう。

午後は、第1分科会で「初等中等教育における実践研究」を、第2分科会では「私にとってのクリティカル・サービスラーニング的視点」をテーマに、実践・研究発表の場を用意しています。そして、プログラムの最後には、参加者がSLに関わる根源的な問い（例えば、SLにおける「学び」とは何か。何のためのSLか。等）に対して、共に探究する「哲学対話」を実践します。AIが即時的な答えを出す時代に、あえてそれぞれの経験と理解を手がかりに問い続け、対話を育むプロセスを通して、SLの営みが持つ真の可能性を共に問い直してみませんか。

これまでのSL実践の経験の有無にかかわらず、このフォーラムが、参加者のみなさまにとって、日々の実践や研究を新しい目で見つめ直す機会となり、そして社会を変革する一歩を共に踏み出すための「対話の広場」となることを願っています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時：	2026年5月17日(日)9:30-17:00
会場：	桜美林大学新宿キャンパス本館(東京都新宿区百人町3丁目23-1) アクセス： https://www.obirin.ac.jp/access/shinjuku/ (JR新大久保駅より徒歩8分) キャンパス360°パノラマ： https://tourmkr.com/F1meYvKxcD/31063887p&262.56h&94.04t
教室：	午前：J304, J305 午後：J304, J305, J201-J205
主催：	日本サービス・ラーニング・ネットワーク (JSLN)
申込方法：	下記Googleフォーム/右記QRコードからお申し込みください。 Googleフォーム： https://forms.gle/w7dgjwEcs8WLSctR8
申込締切：	2026年5月8日(金)
参加費：	JSLN会員/桜美林大学関係者：無料 非会員：3,000円 大学生・大学院生：無料
懇親会：	大会後、17:30より情報交換会を予定しています。
問合せ先：	japanslnetwork@gmail.com

《参加申込 QR コード》



全国フォーラム

第10回「サービス・ラーニング全国フォーラム」プログラム

9:30	《受付開始》 1階エントランスホール
10:00-10:10	《開会》 JSLN代表挨拶： 唐木清志（筑波大学） 開催校挨拶： 山口有次（桜美林大学副学長）
10:10-10:30	《趣旨説明》 黒沼敦子（国際基督教大学）
10:30-12:00	《シンポジウム》 テーマ：日本におけるクリティカル・サービス・ラーニングの可能性 —社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共に— 登壇者： 杉原真晃（聖心女子大学）、北出慶子（立命館大学） 司会・コメンテーター： 黒沼敦子（国際基督教大学）、山田一隆（東海大学）
12:00-13:30	休憩（12:00-12:30は総会）
13:30-15:00	《分科会》 第1分科会：初等中等教育における実践・研究 司会：唐木清志（筑波大学）、石筒覚（高知大学）
	第2分科会：私のクリティカル・サービスラーニング的視点 司会：川田麻記（桜美林大学）
15:00-15:15	休憩
15:15-16:45	《哲学対話セッション—属性を超えた対話の実践—》 <ul style="list-style-type: none"> Service-Learningにおける「学び」とは？ Service-Learningにおける「サービス」とは？ なぜ（なんのために）、Service-Learning をするのか？ Service-Learning で取り組む社会課題は、どうすれば「自分ごと」になる？
16:45-17:00	閉会の挨拶（各教室で）
17:30～	情報交換会

◆ 参加費納入方法

【フォーラム参加費、情報交換会費の納入方法】

JSLN 会員/桜美林大学ご関係者

- ・ フォーラムのみ参加 無料
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

一般（非会員）

- ・ フォーラムのみ参加 3,000 円
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 8,000 円

大学生・大学院生

- ・ フォーラムのみ参加 無料
- ・ フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

※ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。

なお、申込メット日の5月8日（金）までに参加費のお振込みをお願いいたします。

問合せ先： JSLN 事務局 (japanslnetwork@gmail.com)

【参加費・情報交換会費 お振込み先】

- ・ 銀行名： ゆうちょ銀行
- ・ 店名： 0一八（読み ゼロイチハチ）
- ・ 店番： 018
- ・ 預金種目： 普通預金
- ・ 口座番号： 7264312
- ・ 口座名： 日本サービス・ラーニング・ネットワーク

※恐れ入りますが、振込手数料をご負担願います。領収書は全国フォーラム当日お渡しいたします。

◆ 昼食について

- ・ 各自ご用意・持参下さい（当日学内のカフェテリアはお休みです）。
- ・ キャンパス近辺のコンビニエンスストア等で購入可能です。